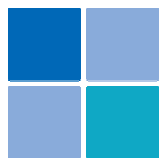


後半のワークについて

後半はA5 ワークブックで進行します

- ▶ 前半は体験重視の経営ゲームでした。
- ▶ 後半は会社のお金の動きを、
ゲームをモデルに解説していきます。
- ▶ 利益の仕組み(P/L)の全体像を知り、
手軽に活用していくためのワークです。





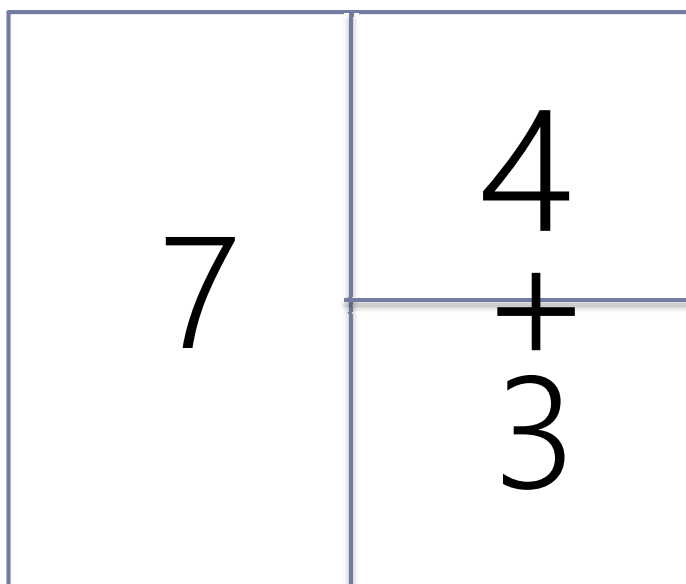
図式で直観計算 (4P下)

図を使います→直感的にパターン処理できます

ふたつの異なる図を使います

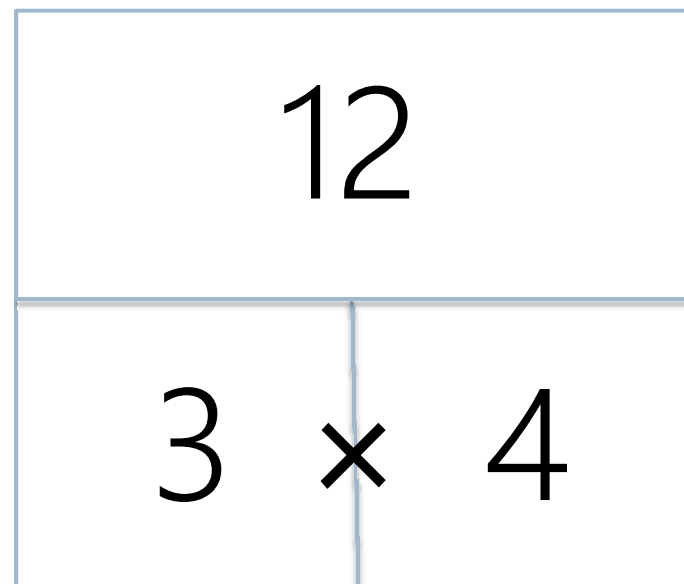
タテ型

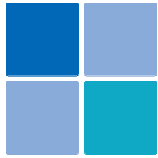
足し算、引き算を
図式化



ヨコ型

掛け算、割り算を
図式化





取引を記入します (P5)

* 記入数字は各自、異なる

① P4 仕入個数
転記する

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

掛け算の図形
掛けたものを上に

ラ全部

ソ 5個まで

団 3個まで

P7にH図を
書き写す

仕入		売上		現金		会計H図	
ラーメン 仕入合計	60円	ラーメン 売上合計	180円	売上合計	345円	仕入合計	195円
① 3 個 20円/個		② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨		元金	200円	アルバイト合計	70円
団子 仕入合計	75円	売上合計	90円			利益	残金
① 5 個 15円/個							280円
ソフト 仕入合計	60円	売上合計	75円				
① 6 個 10円/個		⑤ 5 個 15円/個					

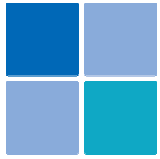
① 屋台 1 日目

サイコロ 本日の目 1

元金 200円 - 仕入合計 195円 + 売上合計 345円 - アルバイト合計 70円 = 残金 280円

(次の日の元金に記入する)



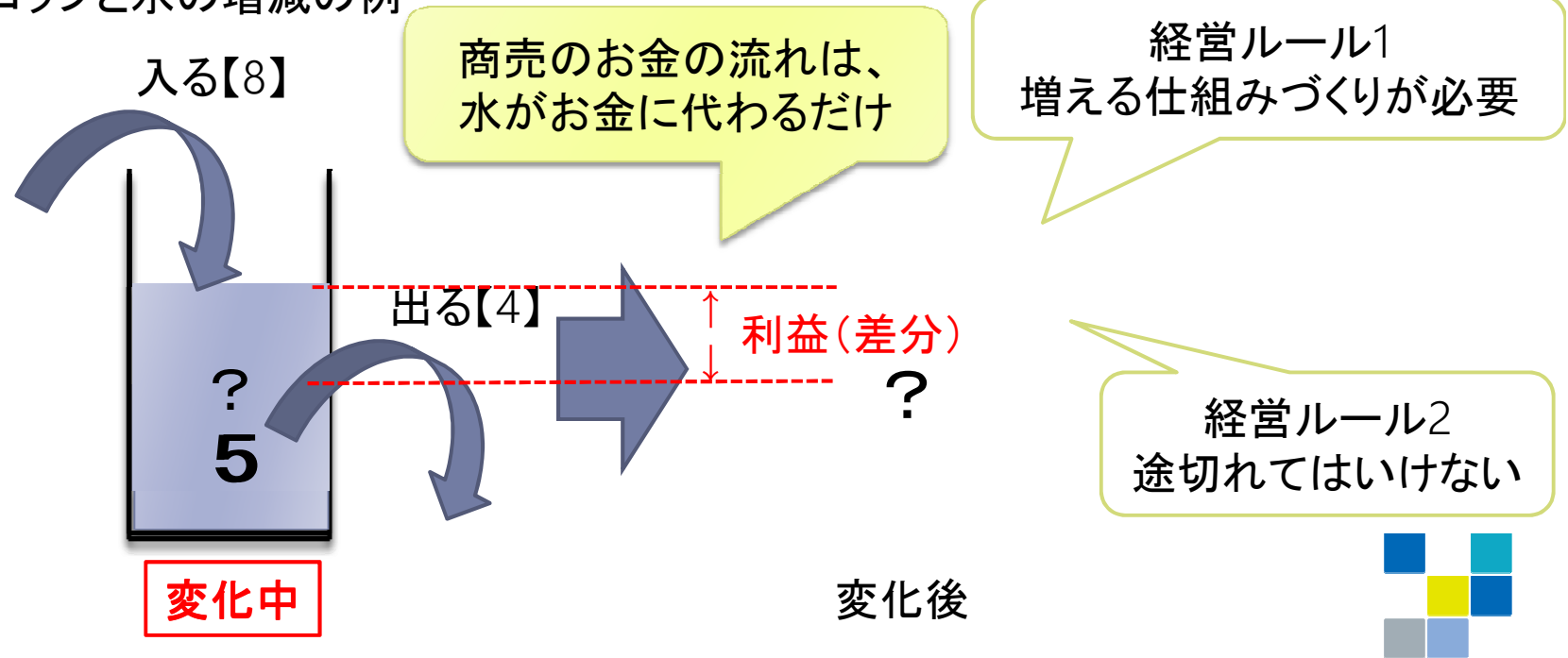


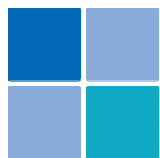
水の増減と利益 (P8)

[学びのポイント]

- ・“水の変化”と“経営のお金の動き”は同じ
- ・継続させるためのルールがある

コップと水の増減の例

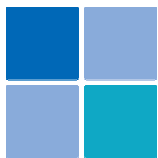




なぜ、利益を出す必要がある？

- ▶ 事業の継続。(続けていける)
 - 経費支払いの必要性。
 - 多少の失敗をカバーできる余裕資金。
 - 安定した資金繰り。
- ▶ 利益の分配。(報酬)
 - 事業主。従業員に。
 - 個人事業で利益が出ないと、まず給料ができなくなる。
- ▶ 新しい分野に投資。(成長、できる事が多くなる)
 - 事業の拡大
 - 他分野へのチャレンジ





2通りの利益の計算 1 (P7-上)

方法2 取引で利益を見る (損益計算 P/L)

345	195
	70
	?

P/L
損益計算書
取引の内容

会計H⑧

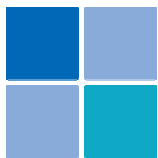
売上合計 345 円	仕入合計 195 円
	アルバイト合計 70 円
利益 80 円	残金 280 円
元金 200 円	

計算法
売上 = 仕入 + 経費
(アルバイト) + 利益
↓
利益 = 売上 - 仕入 - 経費

メモ

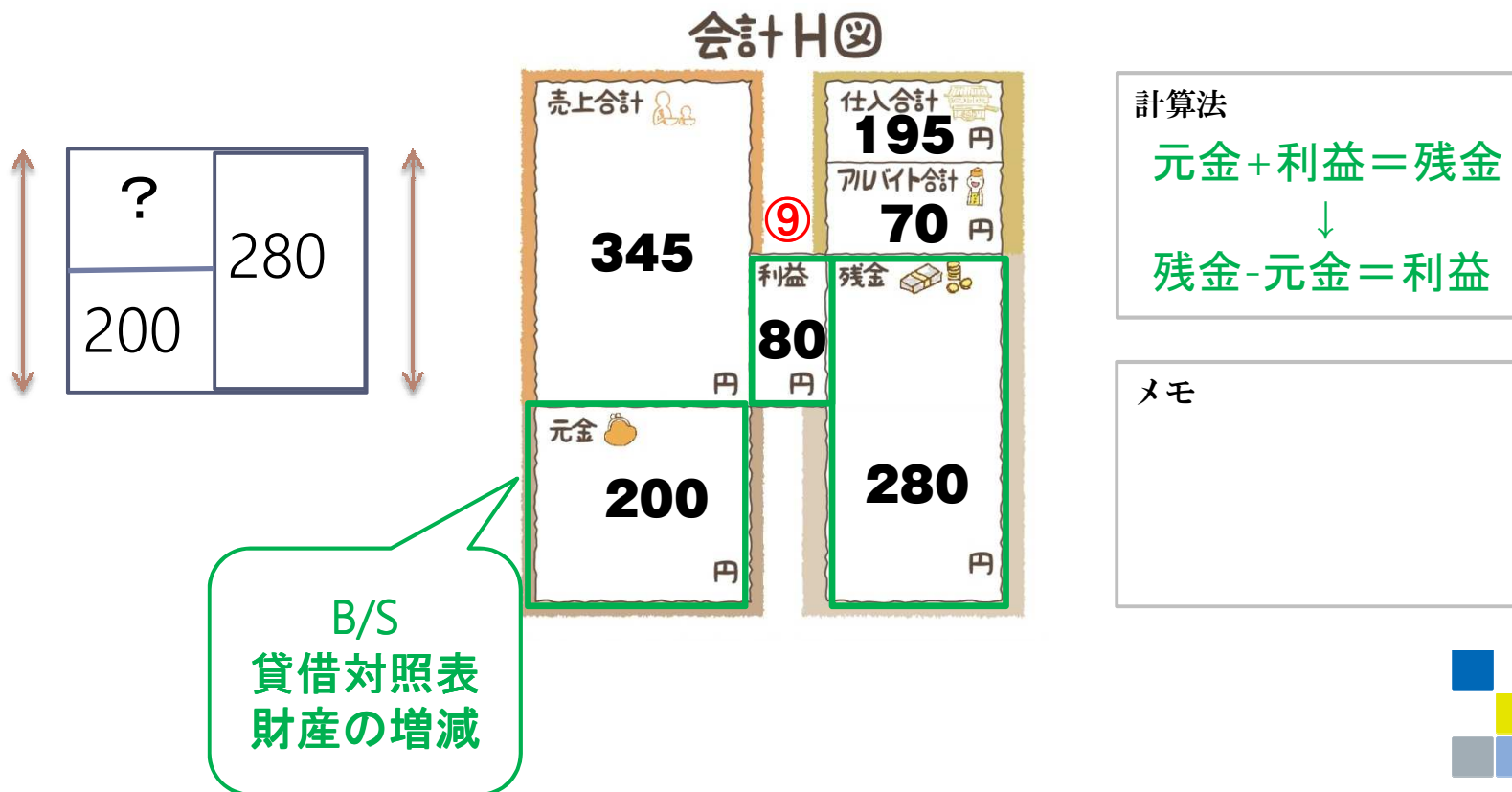
まとめ: PLもBSも利益という点では一致する

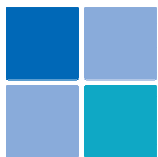




2通りの利益の計算 2 (P7-下)

方法1 財産で利益を見る (貸借対照 B/S)





P5 各会計要素のゲームでの説明

屋台 日目

サイコロ
本日の目

仕入		販売		会計H④	
ラーメン 仕入合計 円	1個 20円/1個	ラーメン 売上合計 円	1個 60円/1個	売上合計	仕入合計
団子 仕入合計 円	1個 15円/1個	団子 売上合計 円	1個 30円/1個	アルバイト合計	アルバイト合計
ソフト 仕入合計 円	1個 10円/1個	ソフト 売上合計 円	1個 15円/1個	利益	残金
元金	仕入合計	売上合計	アルバイト合計 70円/人	残金	

元金 円 - 仕入合計 円 + 売上合計 円 - アルバイト合計 円 = 残金 円

(次の日の元金に記入する)

3つの財務要素(会計3表)

今どれだけ資産を持っているかが貸借対象のBS

商売感覚に近いものが損益計算のPL

お金の流れ・やりくりがキャッシュフローのCF

